

平素よりJNHCの難民援助活動に温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。国連JNHCの協会理事長の宮内です。

本日はアフガニスタン国内のJNHCの活動についてお知らせしたく、アフガニスタン貝澤麻衣職員からの手紙と関連資料をお届けします。なかなか日本では報道されない情報もあるかと存じます。この機会にお目通しいただければ幸いです。

さて、私が国連JNHCの協会理事および理事長に就き、六年経ち三月をもって退任致します。六年前、理事の話をいただいた時、以前より難民問題に関心を持っていたこと、国連難民高等弁務官を務められた緒方貞子さんとは商社時代にダボス会議に御一緒するなどのご縁もあり、少しでも難民の力になれるのをうとお引き受けしました。

理事、理事長を務めるうちに、当協会の役割は寄付を募るのみならず、寄付を募ることを通して世の中で知られていない現実に関心を寄せていただく機会提供だと思いつきました。私たちは何のために生きているのか、その時々瞬間の存在意義や価値を振り返り、誰かの悲しみを共有する時間と場を作ることの大切さをあらためて感じました。

理事長退任後は学長を務める神田外語大学をはじめ様々な場で若い人たちと一緒に難民問題を考えたいと思います。皆様にかかれましては引き続きご無理のない範囲でご支援を賜りたく存じます。

末筆ですが皆様のご健勝のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和六年 睦月

国連JNHCの協会理事長

宮内孝久